

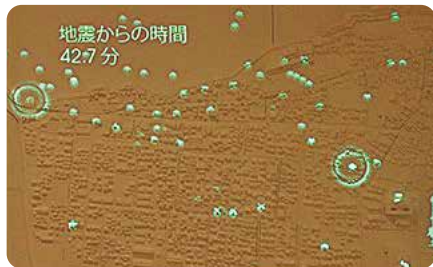
「未」というコンセプトのもと、災害時の心構えや防災教育を伝える施設として2021年に新設。2面投影シアターでは、被害状況とともに生存者の証言映像を上映。「災害を想定できなかつた」「家族を捜しに戻る」ことが一番危険だったのかもなど生存者が語る本音からは多くの学びがあります。プロジェクトクションマッピングを用いた実際の避難行動を可視化した展示では、地域住民100人へ聞き取りを行い、地震発生から津波が来るまでの約60分の動きを示しています。家の片づけをしているなど最初は命の危険を感じていない人がほとんどですが、津波が堤防を越えてからは緊迫状況が伝わります。また、石巻南浜津波復興祈念公園(P65)や石巻市震災遺構門脇小学校(P66)周辺を語り部と巡り、震災で激変した町並みや人々の行動を追体験できる屋外ツアーも受け付けています。



質問すると館内スタッフが実体験を交えながら丁寧に案内してくれる。語り部(所要1時間～、1人770円～ ※要予約)や屋内での講話、市街地を歩くプログラムなどを提供し、オンラインでも対応可能



子ども防災学習コーナーでは震災当時小学生～高校生だった被災者6人の実体験をもとに作成した、漫画動画を上映。友達を亡くした方、津波で壊れた家から発災9日後に救出された方が、思いや教訓を伝える



東北大学災害科学国際研究所と3.11メモリアルネットワークが共同制作し、地域の人々の避難行動を可視化したプロジェクションマッピング。あの日の津波想定と人々の行動がリアルに伝わる

考えてみよう

Q1 プロジェクションマッピングでは、3月11日の地震発生後、家の片付けで移動しない人、浸水エリア外から次々戻ってくる人などの実際の動きが可視化されています。もし自分や家族がこの場所にいたら、どんな行動ができたでしょうか？

いしのまきし
石巻市

●でんしょうこうりゅうしせつみーとかどのわき
伝承交流施設MEET門脇

”できなかつたこと”も伝え、未来の備えに

石巻市の被害状況

最大震度 6強
浸水面積 73km²
最大浸水深 25.99m

全壊 20,044棟
半壊 13,049棟
一部損壊 19,948棟

死者 3,553人
行方不明者 417人
負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

- 施設ガイド
- 語り部あり ※要予約
- 車椅子OK

施設DATA

●でんしょうこうりゅうしせつみーとかどのわき
伝承交流施設MEET門脇
☎ 0225-98-3691 (3.11メモリアルネットワーク) MAP P114D3
①石巻市門脇5-1-1
②三陸沿岸道路矢本ICから車で15分
③10～17時(最終入館は16時30分)
④水曜(ただし月命日の11日は閉館)
⑤300円(高校生以下は無料)
⑥あり(大型バス:なし)
<https://311support.com/learn311/meetkadonowaki>



A1 この場所は、地震から津波まで1時間近くあり、また地震の前にも、たくさんの時間があつた。今、次の災害までに私たちが意識し、行動できることは何かを考えよう。